

舟車輪

第108号

退任のご挨拶



海事課長 鹿島 英之

こちらに赴任して3年が経ちます。いよいよ私にも交代の時が来ました。着任する前は楽しさ半分、不安半分でしたが、海王丸のスタッフには優しく迎えてくださり、あっという間に一生懸命働ける

ようになりました。皆様、いろいろとお世話になりました。心より感謝申し上げます。

富山弁はやはり難しいところがありました。最初は業者の方が何を話しているのかわかりませんが、いい先生が財団の事務所や海王丸ボランティア、海王丸を清掃する方の中においでになり、日々ご指導頂きました。おかげさまで、英語を聞くよりは理解できるようになりましたが、話すことはほとんどできませんでした。

海事課には航海訓練所を定年退職した方もいますが、私にとっては学生の頃の指導頂いた人たちになります。普通だと定年退職した方たちとは、あまり会うことがなくなってしまうものですが、ここではほぼ毎日、顔を合わせてあれこれ意見を交わしながら仕事をします。実習生だった頃は教わってばかりでしたが、少しはお役に立てるようになったかな?と考えられるようになりました。実際には、まだまだ未熟な部分ばかりで、相変わらず指導頂きっぱなしでした。実は河原船長とは26歳も違いますが高校、大学が同じなんです。そのような先輩と仕事ができただけ嬉しかったことの一つでした。

もちろん、私と同じように派遣されている人たちもいます。練習船での仕事では一緒になったこともあります。休日もスキーなどを一緒に楽しむことができ、非常に有意義な時間を過ごせました。

財団事務所ではやったことのない仕事が多く、かなり手こずりました。1年頑張れば慣れるだろうと思ってましたが、実際には

3年目でもドタバタの毎日、1日たりとも「今日の仕事は終わった〜」と満足して帰宅できませんでした。しかし、休憩中などにいろいろと富山のお話しを聞かせて頂き、大変参考になりました。中でも一番びっくりしたのは庄川の河口は明治時代に治水工事で作られたというものでした。他にも富山県では大規模な治水が行われ、大きな山に囲まれるなりの大変さが伺えました。こういう話しを聞く度にいろいろなところに出かけ、自然の雄大さや先人の努力を感じてきました。

船に乗っていると休暇の大半は2、3ヶ月に1回、家に帰ってからまとめて取れるものでしたが、ここでは普通の人と同じように1週間に1、2日は休めません。これを利用して車で方々に行きまわりました。これまで仕事やプライベートでいろいろな所に行きましたが、今年で全ての都道府県に1ヶ所は足を踏み入れることができました。富山出発が一番遠いところでは、秋田まで行きました。かなり遠くに感じましたが、海王丸ボランティアでも秋田や、大阪、名古屋など遠方から来てくださる方がいらっしやいます。展帆の度にこれらのルートを通るんだと思うと、改めて感謝で一杯になりました。

展帆に関しては少々皆さんに申し訳なく思うところがあります。それは総帆展帆の実施率です。平成2年からの累計で雨天等による中止は約1割。つまり実施率は9割です。それに対して、私が赴任してからの3年間は7割に落ちており、多くの方から雨男だと揶揄されました。特に前半は6割ぐらいたくなく、展帆当日の午前8時に中止を決定する前に自宅を出発している遠方から参加するボランティアの皆さんにとっては、海王丸パークに到着してから中止を聞くことが多々あり、高速道路を頑張って走ってきた努力が報われず、大変がっかりされたことと推察致します。さらに、近隣の皆さんもお忙しい中を調整して参加しているのに、展帆中止で予定が狂ってしまうことがあったと思います。改めてお詫言申し上げます。来月からはきっと実施率が上がると思いますが、もし、まだ上がらない場合は他にも雨男がいるはずですから探

してみてください。

海王丸で働いてちょっと気になることがありました。それは富山県内の交通マナーの悪さです。休日にはいろいろなところで車で出かけたのですが、運転マナーの悪い人たちが多く感じました。もちろん日本にはもっとすごい地域もありますが、一見穏やかそうな富山県なのに、意外に悪印象が強かったです。例えば、車線変更や交差点で曲がる際にウィンカーを出さなかったり、一旦停止をせずに交差点に突進してきたり、様々な場所で種々見かけました。それも一般車だけでなく、パトカーや自動車学校の車両までもです。これを読んで頂いている皆さんが悪いわけではないのですが、このようなことは市民1人ひとりの心がけが変わることで良くなっていくものです。周りの人にそのような人がいたら、是非、改善を促してあげてください。

この「舵輪」は海王丸ボランティアでない方も読んでいらっしゃいます。私が赴任してきた時はすでに富山に15年も係留されているので、さぞ知名度も高いのではと思っていたのですが、実はそれほどでもなかった、というのが印象です。かなりの頻度でマスコミに出たり、イベントを行っているし、県内の主要な観光施設にもなっています。しかし、意外に富山県民であっても知られていないようです。県外の方には一つの観光施設として見て頂ければいいのですが、この海王丸は富山県の貴重な財産です。そして、まだ生きています。船をいろいろと活用できる施設なんです。船を維持・保存していくためには多くの手間と時間と経費がかかりますが、それだけのメリットがあるんです。しかし、まだ充分には発揮されていないようです。私たちはこの海王丸をできるだけ長生きできるように日々勤務していますが、我々だけではとても達成できるものではありません。やはり、富山県民のご理解とご支援が必要不可欠です。このような船は一度手放してしまったり、もう二度と戻れることはありません。或いは一度保存を手抜きしてしまうとあっという間に老化してしまいます。この船は今後も丁寧に保存整備を続ければ、20年30年は現役でいられるでしょう。まだ海王丸ボランティアでない方もボランティアとして参加してみたり、厳しい県政の中、海王丸の存在を否定する意見も出ていますが、皆さんから必要性を訴えて頂きたいのです。どうか、富山県民が愛する海王丸にして頂きたいのです。

さて、いろいろと書いてしまいました。海王丸が富山に来て18年になり、その間C/O(チョッサー)として8名が勤務していますが、3年在籍というのは初めてのようです。個人的にも1ヶ所に3年もいるのは初めてで、忙しい中でも充分楽しめた場所であり、まだ、訪れていない場所も多く、今後も船

を下りた休暇には遊びに来たいと思っております。

改めて、皆様には大変お世話になりました。今後も健康にはご留意の上、どうか海王丸をよろしくお願い致します。

7・8・9月の行事結果

総帆展帆 ・ 登櫓礼



(ボランティアNo. 401 今井雄治さん撮影)

台風4号が去った7月16日は海の日。船師で祝意を表した海王丸に、80名のボランティアが集まりました。

解帆に先だって登櫓礼を行いました。40名の登櫓員による「海の日、おめでとう」の三唱が海王丸パークにこだますると、見学者から大きな拍手がわき起こりました。

船首方向からの風のため、ヤード上での作業がやりにくいところもありましたが、いつもより多いボランティアの参加のお陰でスムーズに作業できました。

天候 曇 参加人数 80名
展帆状態 総帆 ポートタック スクエアース

総帆展帆

梅雨も明け、連日真夏日が続いた8月5日は、参加ボランティアの少ない中での実施となりました。

暑い中、多くの子供達が筆をとってセイルを広げた海王丸の姿を熱心に描いていました。

天候 晴 参加人数 61名
展帆状態 28枚 ポートタック スクエアース

総帆展帆

9月2日は、朝方小雨が降りましたが作

業開始時にはデッキも乾き、総帆展帆を行うことができました。横浜の日本丸ボランティアから3名の参加がありました。

天候 晴 参加人数 68名
展帆状態 総帆 スタート・タック スクエアーズ



ボランティア表彰式

7月16日、海の日を記念した汽笛を合図に平成19年度ボランティア表彰式がシルステージにて挙行されました。

ボランティア表彰は、海王丸ボランティア活動を通じて海事思想の普及に多大の貢献をされた方に、その功績をたたえるために、毎年海の日に行っています。

表彰式では、河原船長の挨拶に続いて、展帆ボランティア7名と甲板ボランティア1名に表彰状と記念品が授与され、受賞者インタビューが行われました。

昨年創設された海王シルバー賞の初の受賞者である玉井文次さんはインタビューで、「200回を目指してがんばりたい」と意気込みを語られました。



受賞者の皆さん

海王シルバー賞（総帆展帆150回）
玉井 文次 さん

海王賞（総帆展帆100回）

谷岸 清士 さん
一 外 治 さん
若林 良作 さん

海王賞（甲板作業500時間）
長久 昇 さん

紺青賞（総帆展帆50回）
中谷 巧 さん
野村 寿男 さん
小泉 理恵 さん

新規ボランティア養成訓練

7、9月に行われた新規養成訓練で次の方々が仲間に加わりました。どうぞよろしくお願いします。

佐竹 正治 さん（さたけ まさはる）
畠中 和弘 さん（はたなか かずひろ）
串田 絵梨子 さん（くした えりこ）
若林 貞唯 さん（わかばやし さだただ）
小林 千乃 さん（こばやし ゆきの）

10・11月の行事予定

総帆展帆 . . .

日 時：平成19年10月 7日（日）
10月21日（日）
11月 3日（土/祝）
午前10時～（受付は9時から）

場 所：更衣・交流センター研修室
集合・海王丸第1教室

同封のハガキにて出欠連絡をお願いします

アンベンディングセイル

アンベンディングセイルとは、セイルを取り外すことです。今年使用したセイルをマストやヤードから下ろし、補修をして来年度に備えます。この作業にご協力いただけるボランティアを募集します。

日 時：平成19年11月 4日（日）
11月 5日（月）
08：30～17：00頃

場 所：更衣；訓練生居住区（男性）
後部乗組員居住区（女性）
集合；第一教室

同封のハガキにて出欠連絡をお願いします

ボランティア新規養成訓練

海王丸ボランティアになってみませんか？総帆展帆やセイル作製の他、楽しい活動や交流があります。

今回が、今年度最後のチャンスになります。ご応募お待ちしております。

平成19年10月13・14日(土・日)

訓練参加には、お申し込みが必要です。お問い合わせは海事課まで。

お知らせ

海王丸の一般公開休止について

アンペンディングセイルと、それに続くブラックダウン、マスト・ヤード塗装の期間中は、海王丸の一般公開を休止します。

平成19年11月4日(日)～23日(金)

イベント案内

巨大フリーマーケット

海王丸パークのシェルステージ周辺に一般から募集した約100区画(予定)のフリーマーケットを出店します。

日時：平成19年10月 7日(日)
10:00～15:30

フリーマーケットの出店には事前の参加申し込みが必要です。

お問い合わせは、こちらへ。
総務課 0766-82-5181

探鳥会

日時：平成19年11月11日(日)
08:30～10:30

場所：臨海野鳥園(海王丸パーク内)

内容：バードマスターによる解説を聞きながら観察できます。

質問コーナー

(質問)海王丸の体重を教えてください。
高岡市立平米小学校6年生

(答え)船の重さは、排水量とか排水トン数と呼ばれます。海王丸の排水トン数は約4,000トンです。船の大きさを表すのに、様々なトン数があります。船の容積を表す「総トン数」、貨物を積む場所の広さを表す「純トン数」、積める貨物などの重さを表す「重量トン数」などいろいろあります。

危険予知トレーニングvol.25

前回107号vol.24の答え

《状況》ポンプのグランド部からの水漏れ点検



1. グレーチングを持ち上げるとき、腰を痛める。
2. 足場が悪いので足が滑って、転落する。
3. 船体動揺で支えきれず、倒れてきたグレーチングで足を打つ。

4. グレーチングをおろすときに、床とグレーチングの間に手を挟む。



船橋にあるトータバック用スピーカーを取り外している。

左のイラストにはどんな危険がひそんでいるでしょうか？考えてみましょう。

答えは次号で！

(船員災害防止協会刊：商船KYTイラストシート集89より抜粋)

終わりに

夏の終わりに、呉羽産の幸水をいただきました。みずみずしくて甘さたっぷりの梨を、こどもと取り合いながら頬張りました。富山の秋の味覚が楽しみです。(さ)
「みなとまち上陸紀行」は紙面の都合上、次号に掲載します。「次の寄港地」は大阪です。お楽しみに！